

## 1 法然塚通り (ほうねづかどおり)



西伝寺町

西伝寺の西方、法然塚東の通り。  
法然塚には、法然上人、室町幕府六代將軍足利義教、義教の乳母の三つの供養塔が建てられている。



## 2 目刺橋通り (めざしどおり)



三和町

西伝寺町から三和町に通じている。  
豊臣秀吉が少年時代、旧芳川でメダカを突いて遊んだという伝説から、この名が付けられた。



## 3 片葉の葦・由来の地 (かたはのあし・ゆらいのち)



頭陀寺町

天白社内の「豊臣秀吉鎌研池」の傍らにある。秀吉の少年時代と「片葉の葦」にまつわる伝説に由来する。



## 4 門前通り (もんぜんどおり)



頭陀寺町

頭陀寺の門前通りである。  
頭陀寺は大宝3年(703年)、円空上人が創建した。  
江戸時代には幕府の保護を受け、大いに栄えたという。



## 5 嘉平次通り (かへいじどおり)



頭陀寺町

松下屋敷の跡を貫く通りである。  
松下屋敷は、豊臣秀吉が仕えたといわれる松下嘉兵衛の網の屋敷で、その子孫は嘉平次と名乗ったという。



## 6 都盛学校跡 (つもりがっこうあと)



参野町

都守学校は、明治13年1月、本郷町の能光寺から津毛利神社旧御酒殿に校舎を移し、22年の芳川尋常小学校創立まで、この地にあった。



## 7 御手洗池 (みたらしけ)



参野町

津毛利神社の末社である御手洗神社の境内にある。  
かつては、清水がわき出ており、津毛利神社の参拝者が、その水で身を清めたといわれる。



## 8 鳥居松跡 (とりいまつあと)



参野町

昔、津毛利神社の鳥居に見立てられる大きな松が、この付近にあった。  
船人は、津毛利神社に航海の安全を祈願したという。



## 9 メダカ通り (めだかどおり)



本郷町

芳川北小学校北側の通りである。  
本郷町から頭陀寺町まで、芳川を渡って通じている。豊臣秀吉が、この地の松下嘉兵衛に仕えていたころ、草刈りのつれづれに、松葉を投げてメダカを突いて遊んだ、という伝説が、この付近に残っている。



## 10 桜並木通り (さくらなみきどおり)



本郷町

芳川の右岸堤防沿いの通りである。  
昭和49年4月、本郷町自治会は、芳川を境に東西に分離した。  
その記念に昭和51年3月、桜を植えた。



## 11 芳川小学校発祥の地 (ほうがわしょうがっこうはつしょうのち)



本郷町

明治6年11月、晁屋敷学校本郷村分教場が、町内の能光寺に置かれた。  
明治22年、芳川尋常小学校となり、24年、現在地に移転した。



## 12 都盛戸長役場跡 (つもりこちょうやくばあと)



本郷町

明治9年4月、付近の8か村が合併して都盛村となり、その中心地だった本郷に都盛戸長役場が置かれた。その跡地である。



## 13 諏訪神社前通り (すわじんじゃまえどおり)



本郷町

諏訪神社南の東西の通りである。  
頭陀寺村と弥十村(本郷町)を支配した松下一族は、諏訪神社を氏神として崇敬し、弥十村に祭っていた。



## 14 八幡橋通り (やわたばしどおり)



安松町

町の北部を横断する通りである。  
八幡橋は芳川旧田川に架かる橋で、この付近の小字を八幡というので、この名が付けられた。



## 15 中央どおり (ちゅうおうどおり)



安松町

町の中央を南北に通じている。  
町内では最も古くからの道路で、舗装も一番早くされている。かつて、周辺には田園が広がっていた。



## 16 浄土様どおり (じょうどさまどおり)



安松町

町の中央を横断する通りである。  
遠州の伝説として有名な「安松火」にいわれのある浄土様で、以前は大層にぎわったという。

